

おやまだ Webニュース

【平成 23 年 1 月 28 日 No.23-02】

青少年育成部の研修旅行報告

毎年恒例の地区社協・青少年育成部の研修旅行が、1月28日(金)福井県武生市の坂岡嘉代子先生が指導する「はぐるまの家」の見学をテーマに実施された。

今年の北陸地方は雪の日が多いが、幸い当日は幹線道路には雪が無く、「はぐるまの家」の前も朝から少年達が我々を出迎えるため、除雪をしてくれたので、靴を濡らすことなく訪問することができた。

はじめに、坂岡先生より施設の状況や、少年達の話をお聞かせいただき、その後自由に生活の場を見学し、和太鼓の演奏を見物することができた。

和太鼓を演奏する少年たち



“雪だるま”で歓迎！！



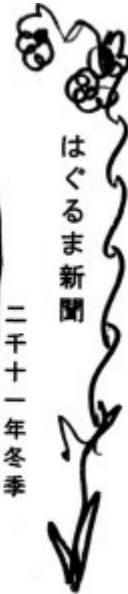
非行・不登校・家庭内暴力・薬物依存の子供さんを依託教育

リカレント教育実施のフリースクール

自主支援・更正民間施設

はぐるまの家

はぐるま新聞より抜粋・・・



はぐるま新聞

二十十一年冬季

兎のように飛べ

猛暑の日々が幻のように過ぎ去り、意外は真白き雪が美しい景色を見せてくれている。例年の如く、寒さに悲鳴を上げる子供たちの声と共に、「雪遊びやろう」という歓声も聞こえてきて賑やかな我が家である。子供たちの中、汗にまみれてバチを握り、立て続けのステージに感動の姿を目に焼き付けさせてくれたA君、B君、C君の先輩、兄貴分としての働きにはただただ胸熱いものが込み上がるばかりであった。A君、B君は高校生活も二年生に進級が出来た。通しとなり、胸を撫で下ろしているが、久しぶりに高校生が生まれ、A君にあっては我が家の生活二年一ヶ月、危険物取り扱い取得試験も、順調に乙一へと挑戦が進んでいる。B君は今年五月より、南越前町にある授産所「花里音」さんのご厚意にてパン作りにと勤務しながら、十八歳の春に向けての、自動車免許取得のための自動車学校入学費を貯めてくれるために頑張ってくれている。頑張り事の出来なかった子、頑張りという行為すら、気構えすら捨て去ってきた子供たちにとって、こうしが叶ったはぐるまの家の現在の状況となつて有り難い限りとなっている。

「人は生まれ変わることができる」

石川 洋先生「生きる覚悟」より

今年の後半は研修という申し込みで、沢山の方々が家にとご訪問された。「愛らしいですね」「笑顔が良いですね」「太鼓素晴らしいですね」の感想をお聞きするたびに、子供たちの顔が一つとなり、我が家で生まれ変わってくれたことを心より願ってやまないが、年末を近くして一人の少年との出会いと別れに、心からの愛しさと共に込み上がる涙を流す自分と久しぶりに出会った気がした。D君十七歳。御縁を頂いた直後は、「彼の口の悪さをどうにかして欲しいよ」と、口喧嘩や暴力沙汰まで引き起こす事が続いたが、就職先が決まり、僅か二ヶ月で委託取り消しとなり遠く離れて行く事となった。「D、短気を起こすなよ。言葉に気を付けるよ。素直に従う事をするんだよ」と伝える言葉はつきず、肩を抱いて別れをしたが、Dの目に流れる涙が嬉しかった。玄関に立って見送る子供たちに片手を上げ、涙をこらえて歩き出した目が真っ赤に染まっていた。こらえきれなかった涙。淋しいから、存在を認めて欲しいから、必要にされたいから・・・Dが起こした問題は全ての子に通じるもの。旅立ちの支度の買ひ物は、久しぶりに切ない思いを味わうものとなった。D、兎のように高く飛べよ。君はきっと生まれ変わるから。あの涙を忘れなければ・・・